

会議録

会議の名称	平成22年度第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成22年9月8日（水曜日） 午後6時00分から午後8時30分まで
開催場所	保谷庁舎別棟 B会議室
出席者	委員：赤澤委員長、中平副委員長、石原委員、清水委員、鈴木委員、高澤委員、谷関委員、西田委員、古谷委員 事務局：三石文化振興課長、林文化振興課文化振興係長、渡部文化振興課文化振興係主事、春日文化振興課文化振興係主事 支援業者：室井、小松、増原（記録）（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2. 市民意向の把握について <ol style="list-style-type: none"> 1 市民意向調査（市民アンケート）について 2 団体ヒアリング（案）について 3 子どもの意見把握企画（案）について 3. 文化芸術振興イベントの企画（案）について 4. 庁内検討部会との連携について 5. （仮称）西東京市文化芸術振興計画の意見交換について 6. 今後の会議日程について 7. その他
会議資料の名称	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 2. 西東京市民の文化芸術における意向調査（市民アンケート）調査概要 3. 活動団体ヒアリング調査概要（案） 4. 今後の市民文化を担う「子ども」の意見の把握 企画案 5. 文化芸術振興関連のイベント実施概要（案） 6. （仮称）西東京市文化芸術振興計画策定庁内検討会設置要領 7. 庁内部署へのヒアリング概要（案） 8. 都内にみる文化・芸術関連の計画策定状況 9. 他都市の文化芸術に関する計画の構成の事例 10. 次回以降の会議日程調整表 11. 事務局名簿
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

(開会)

議題6 今後の会議日程の確認

(事務局から資料10に基づき説明)

会議日程については、最大限委員が揃う日を提案した。

先の日程は現時点では判断できないため、回毎に事務局より次回の日程を確認する形で提案することを委員各位より承認された。

議題1 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

(事務局から資料1に基づき説明)

修正箇所の確認を行った。

(委員長から確認事項の説明)

会議録には委員の個人名を記載せず、会議内容の要点記録とすることが承認された。

議題2 市民意向の把握について

1 市民意向調査(市民アンケート)について

(事務局から資料2に基づき説明)

調査対象：1,000人、調査期間：8月31日(火曜日)～9月21日(火曜日)としており、現在170通回答をいただいている。

集計作業を10月中に行い、第3回委員会で結果の報告をする予定である。

アンケート票の内容については、第1回委員会でいただいた意見をもとに、回答者が回答しやすいよう修正を行った。

2 団体ヒアリング(案)について

(事務局から資料3に基づき説明)

西東京市内で活動している団体に対しアンケートを実施し、その中から更に何組かを抽出してヒアリング調査を実施する。

アンケートの対象は、不特定多数の西東京市内の公共施設を使用している市民団体と、第10回西東京市民文化祭に参加している団体の2パターンを予定している。

第3回委員会で結果の報告をする予定である。

(委員より意見あり)

・アンケートを設置する公共施設一覧に「ひばりが丘図書館」以外の図書館が入っていないのはなぜか。

・作品展示や音楽祭など発表の場としてだけ公共施設を利用している人もアンケートに参加できるよう工夫してほしい。

・ヒアリングの対象となる団体は、分野が偏らないように選んで欲しい。

○事務局：

・「ひばりが丘図書館」は公民館と併設されていない単独の施設であるためアンケート設置施設として選定した。

・アンケートについては、できるだけ多くの団体に回答していただけるように、配布方

法等を工夫する。

・ヒアリングの対象となる団体は、アンケートに連絡先を記入した団体の中から、回答内容の密度等を見ながら、できるだけ活動分野が重複しないように選ぶ予定である。
(委員各位より承認された。)

3 子どもの意見把握企画(案)について

(事務局から資料4に基づき説明)

アンケートとワークショップにより子どもの意見を把握する。

市内の学童クラブや小・中学校、高校(都立・私立)にお知らせし、できるだけ多くの協力を募る。

ワークショップについては、委員の都合があれば参加していただきたい。

第3回委員会で結果の報告をする予定である。

(委員より意見あり)

・子どもは「文化」についてのイメージがわからないため、子どもの一番近くにいる親と子どもの意見を上手くリンクさせられるようなアンケート方法にして欲しい。

・10歳頃までの子どものアンケートについては、シールの色を変えるなど楽しめる工夫をして「やっているもの」だけでなく「やりたいもの」も聞いてはどうか。

・複数の文化活動を行っている子どもも多いので、複数回答ありにしてはどうか。

・子どものアンケートには「読書」や「ゲーム」、「アニメ」といった身近な選択肢を入れてはどうか。

・子どもについては普段の生活の中での文化とのふれあいについて尋ねる主旨が強いので、「文化・芸術」ではなく、「文化」のみでよいのではないか。

○事務局：

子どものアンケートについては、子どもがこの設問に回答することを通して、「文化」を知ったり、考えたりするきっかけになるように工夫をしている。学童クラブの指導員と対話しながら進められることを期待する。

この他、アンケート等に関する意見があれば、9月15日までに事務局にお寄せいただきたい。

○委員長：

アンケート等に関する意見があれば、後ほど事務局に意見を述べ、その後は事務局に任せるという方法でどうか。

(委員各位より承認された。)

議題3 文化芸術振興イベントの企画(案)について

(事務局から資料5に基づき説明)

より幅広く、多くの市民に文化や芸術に関する活動や市の取り組みの情報を提供するため、人通りの多いアスタセンターコートで開催するイベント案である。

イベントへの参加団体は、公募することを予定している。

(委員より意見あり)

- ・活動団体の活動時の写真を展示する等の工夫をすると、よりどんなことをやっているかがわかる。
- ・活動内容の分野が偏らないように、実演団体は1分野1団体ずつなど決めて、イベントの質を上げるべきである。
- ・参加団体の活動の内容によって、当日、準備にかかる時間が変わってくるので、考慮が必要である。
- ・街頭での実施も効果的だが、2月という寒い時期に、ペDESTリアンデッキに人は立ち止まりにくい。
- ・開催場所や内容については連携が可能な機関と調整する等、市内の横の繋がりもアピールできるようなイベントにすべきである。

○事務局：

これから継続的に進めていく文化芸術振興の取り組みの第一弾となるようなイベントにしたいと考えている。

イベントの準備には開催場所の確保や協力団体への依頼等もあり、早急に準備を進めていく必要がある。次回の委員会が11月開催と期間が空くため、イベントの内容を詰めていく部会を設けてはどうか。

(イベント部会のメンバーとして石原委員、鈴木委員、高澤委員、西田委員、谷関委員の5名が選出され、承認された。)

○委員長：

詳細なイベント企画については、5人の委員からなるイベント部会と事務局に一任するということよろしいか。

(委員各位より承認された。)

議題4 庁内検討会との連携について

(事務局から資料6に基づき説明)

計画策定にあたり、庁内においても関係部署による検討会の設置を行う。

(委員より意見あり)

- ・本推進委員会の設置要綱と庁内検討会の関係性を示して欲しい。

○事務局：

本推進委員会で計画策定のための調査・議論し、結果を提言としてまとめる。その際庁内検討会は、本推進委員会での議論をもとに、庁内で調整検討するものである。

なお、庁内検討会での進捗状況については、並行して進めることとなる。

○委員長：

本推進委員会で提言し、庁内検討会で確かなものにしていくという主旨であると理解した。

(事務局から資料7に基づき説明)

庁内の各関係部署に対して文化芸術関連事業に関するヒアリング調査を行う。

第4回委員会で結果の報告をする予定である。

(委員より質問あり)

- ・庁内検討会は市民の傍聴の対象になるのか。

○事務局：

庁内検討会については、一般の傍聴は考えていない。ただし、会議録等については情報公開する。

(庁内ヒアリングについて委員各位より承認された。)

議題5 (仮称) 西東京市文化芸術振興計画の意見交換について

(事務局から資料8・9に基づき説明)

議題5では文化・芸術に関する計画の先行事例を紹介したうえで、各委員の西東京市文化芸術振興計画に対するイメージや希望を自由に述べていただいた。

(委員より意見あり)

・芸術は人々の暮らしの中に浸透して、初めて価値が生まれるものだと考える。芸術に触れるきっかけとなるようなやさしく分かりやすい芸術をいかに提供するかを考えなければならない。

・子どもが芸術に触れるきっかけ作りを話し合いたい。

・文化や芸術というものは、異なる分野のものを合わせることで、新たな発見があるので、そういった試みをしてもらいたい。

・施設は、広報活動を充実させる必要があるが、場所によって、広報活動への力の入れ方が違う。こもれびホールは、イベントスケジュールを新聞に折り込むなど広報活動に力を入れているので、すばらしい。

・施設をよりよくするためには、そこで働く人の想像力と、想像を実現する企画力、仕事に情熱を持ち続ける継続力が必要である。交流の場になっている施設は暖かみが出てくる。

・文化芸術の情報を市民に伝えるには、市の広報は勿論重要だが、マスコミの役割が非常に大切である。

・計画を立案していく際には、各公共施設に熱意のある人をどう配分するか、熱意のある人をどう育てるかを考えなければならない。

・西東京市の特徴を市民の意向調査の結果等から今後考えていかなければならない。

・幅広い芸術を認めてもらって、そういったものが市民の生活に入り込むことで更に活動が豊かなものになればよいと思う。

・文化芸術を支えていく中心は市民だと思う。

・文化への接し方は、いいものに触れたり、自分自身が参加したりと様々な方法があると思う。こうした、色々な局面を加味した計画にしていきたい。

・文化の範囲を縮めないで欲しい。

・先行事例を見ていると、各自治体で取り組む姿勢が異なるので、そういったものを参考にしながら、西東京市らしい計画を策定して欲しい。

・計画は理念ではなく、施策に基づき具体的に取り組むものを作成したい。そのためにも、「活動の場」と「人」、「市の支援」といったものも上手くかみ合わせていく必要

がある。

議題6 今後の会議日程について

(再度確認)

- ・第3回は11月24日（水曜日）午後6時からに決定した。

議題7 その他

(特になし)